

オカダアイヨン

適用範囲		型 式	OSC-210V	OSC-220MV	OSC-200A	OSC-200PA
		質 量 kg	1.820	2.250	1.770	2.185
		取付可能機体質量 (単位 t)	18～25	18～25	18～25	18～25
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値		
油 圧 装 置	シリンダー (図 1-14 参照)	開閉シリンダー				
		伸縮量	mm	30	30	30
		測定時間	分	3	3	3
圧 砕 ・ 切 断 部	カッター (図 1-15 参照)	カッターの隙間 B				
		基準値	mm	1.0	1.0	1.0
		許容限度	mm	2.0	2.0	2.0
	圧砕ポイント (図 1-16 参照)	圧砕ポイント A				
		基準値	mm	168	168	163
		許容限度	mm	138	138	133
		圧砕ポイント B				
		基準値	mm	208	208	186
		許容限度	mm	188	188	166
		圧砕ポイント C				
		基準値	mm	108	108	93
		許容限度	mm	88	88	77
		圧砕ポイント D				
		基準寸法	mm	128	128	112
		許容限度	mm	103	103	96
		圧砕ポイント E				
		基準寸法	mm	108	108	130
		許容限度	mm	88	88	114
		圧砕ポイント F				
		基準寸法	mm			108
		許容限度	mm			88
		圧砕ポイント G				
		基準寸法	mm	210	210	171
		許容限度	mm	180	180	141

コンクリート小割圧砕具

OSC-200MA	OSC-200HMA	OSC-200GMA	OSC-310V	OSC-350V	OSC-350V	OSC-410V	OSC-450
2.140	2.111	2.150	2.710	2.789	2.789	3.470	3.470
				～S35A086	S35A100～		～SC45B47
18～25	18～25	18～25	26～34	26～34	26～34	30～48	30～48
検 査 基 準 値							
30	30	30	30	30	30	30	30
3	3	3	3	3	3	3	3
1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
163	163	163	190	190	190	213	213
133	133	133	155	155	155	174	174
186	186	186	232	232	212	256	256
166	166	166	202	202	185	221	221
93	93	93	132	132	132	136	136
77	77	77	107	107	107	111	111
112	112	112	132	132	132	156	156
96	96	96	107	107	107	126	126
130	130	130	132	132	132	136	131
114	114	114	107	107	107	111	111
108	108	108					
88	88	88					
171	171	171	240	240	240	260	260
141	141	141	200	200	200	215	215

オカダアイヨン

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、a のストップバルブを閉じる。
- ③L 部の寸法測定を行い、3 分間経過後に再度L 部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。

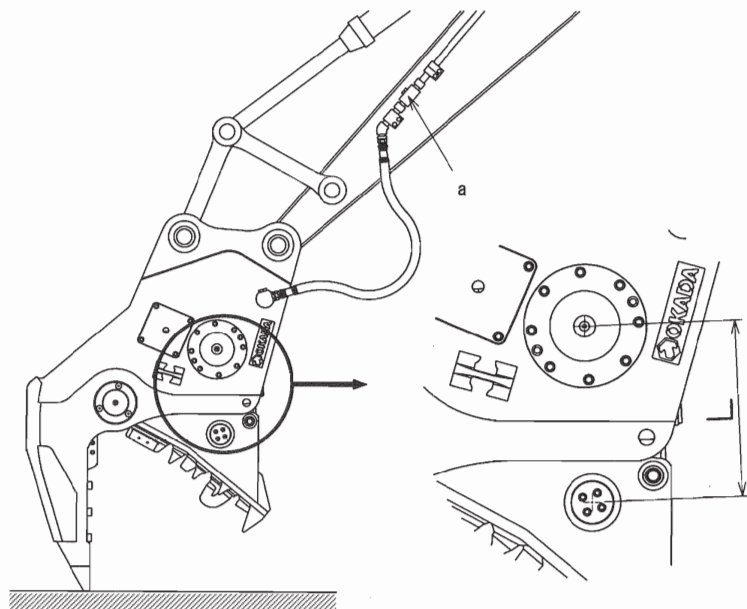


図 1-14 開閉シリンダーの伸縮量測定

コンクリート小割圧砕具

2. カッターの隙間測定

- ①本体を地面から浮かせた状態で水平に保持し、アーム全閉状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②すきまゲージによりB 寸法を測定する。

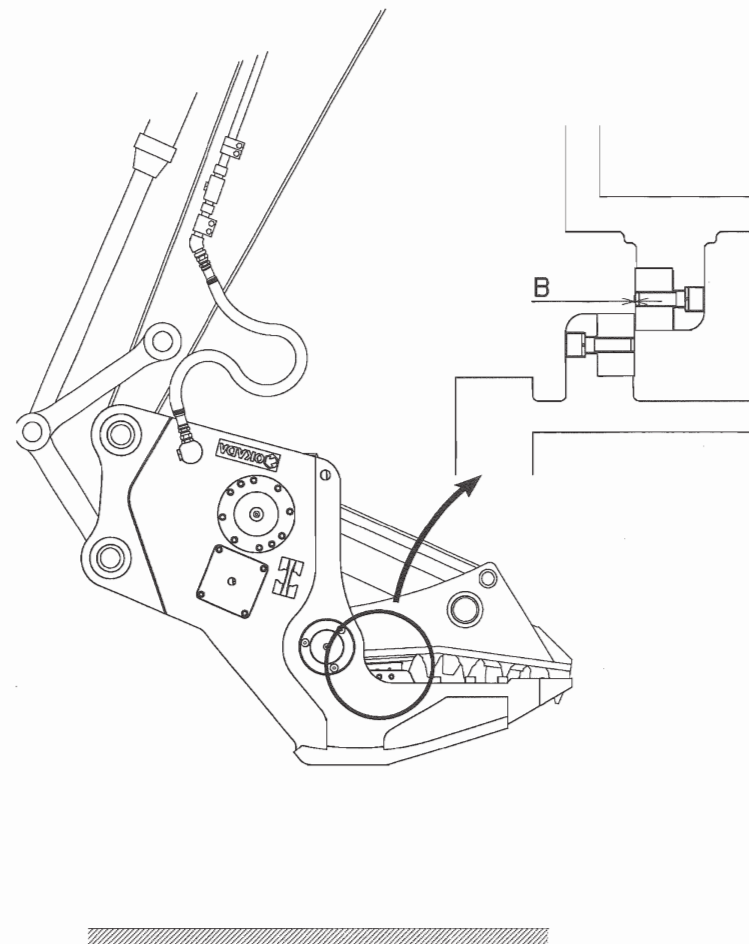


図 1-15 カッターの隙間測定

3. 圧砕ポイントの隙間測定

- ①アーム全開状態（シリンダー収縮）で検査を行う。
- ②各圧砕ポイントA～Gを計測する。

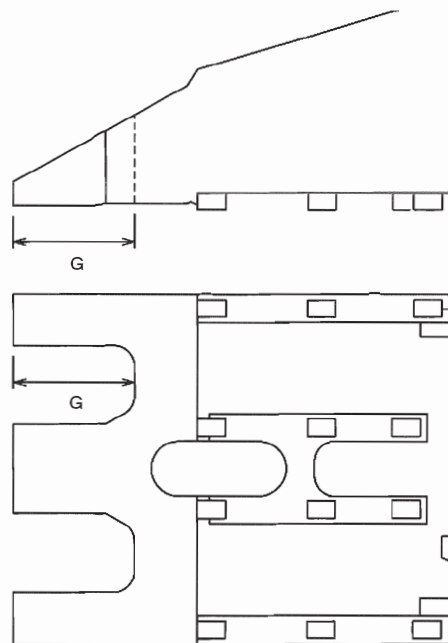


図 1-16 圧砕ポイントの測定

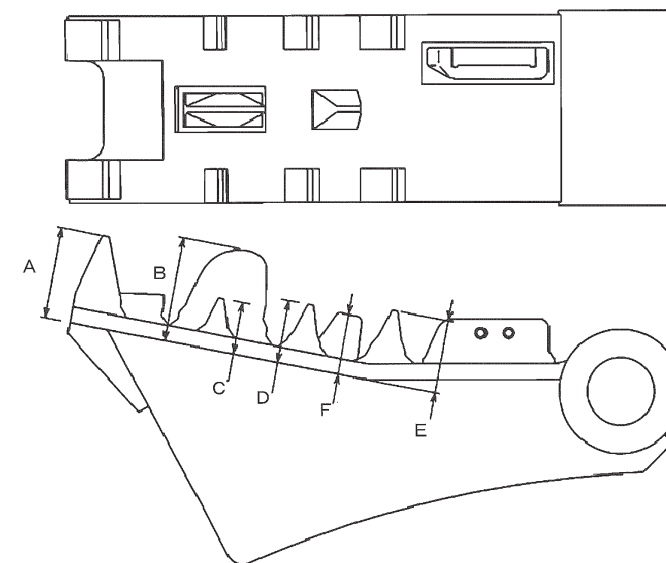


図 1-17 圧砕ポイントの測定